

社団法人心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	家島明彦 (いえしま あきひこ)	所属	島根大学教育開発センター
研究集会等名称	マンガ心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数(会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 16名(うち認定心理士 4名) 非会員 7名(うち認定心理士 -名) <u>合計23名</u> ※ML登録者数は倍以上</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>★日本心理学会第73回大会ワークショップの開催 日本心理学会第73回大会で以下のワークショップを開催した(2009年8月27日、於：立命館大学衣笠キャンパス)。前日の夜には登壇者で打合せも行い、当日も非常に盛り上がった。発表資料と逐語録はコミュニティ内で(会員限定で)公開予定である。</p> <p>マンガ心理学の展開(1)：認知心理学・教育心理学・感性心理学からのアプローチ</p> <p>企画者 マンガ心理学研究会 司会者 家島明彦(島根大学) 菅村玄二(関西大学) 話題提供者 菅谷 充(マンガ家/早稲田大学) 話題提供者 玉田圭作(慶應義塾大学) 話題提供者 雨宮俊彦(関西大学) 指定討論者 中澤 潤(千葉大学) 指定討論者 市川伸一(東京大学)</p> <p>★日本心理学会第74回大会ワークショップの企画 2010年度は2009年度のWSの第二弾として以下のワークショップを企画している。 (採択済み)</p> <p>マンガ心理学の展開(2)：臨諸心理学・医学からのアプローチ</p> <p>企画者 マンガ心理学研究会 司会者 家島明彦(島根大学) 中澤 潤(千葉大学) 話題提供者 斎藤清二(富山大学) 話題提供者 岩宮恵子(島根大学) 話題提供者 横田正夫(日本大学) 指定討論者 菅村玄二(関西大学)</p>		

[企画趣旨]

近年、マンガに関する心理学研究への関心が高まっており、マンガおよびマンガ読者への心理学的アプローチの体系化が求められている。日本心理学会マンガ心理学研究会 (<http://manga-psy.org/>) は心理学領域における様々なマンガに関する研究の知見を集約し、研究者の交流や情報の交換を促進することを目的として活動している。今回は臨床心理学・医学からのアプローチを取り上げ、臨床心理士／医学博士である斎藤氏、岩宮氏、横田氏の3名からマンガとマンガ読者に対する臨床心理学的／医学的アプローチについて臨床実践や理論研究を踏まえた話題提供をしていただく。指定討論者の菅村氏には研究発表へのコメントや今後の展開の可能性・方向性についてのコメントをしていただく。最後に、質疑応答と全体討論を行い、マンガ／マンガ読者と臨床心理学／医学の関連について参加者の方々と議論する。